

令和 7 年度 農作物病虫害発生予察 8 月月報

令和 7 年(2025年) 9 月 1 日

山 口 県 病 害 虫 防 除 所

I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (℃)								
	平 均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
8.1	29.7	28.0	1.7	36.3	33.4	2.9	24.8	24.0	0.8
8.2	27.3	28.0	△ 0.7	32.0	33.3	△ 1.3	24.6	24.0	0.6
8.3	28.1	27.7	0.4	33.8	33.0	0.8	24.5	23.8	0.7
8.4	29.5	27.3	2.2	36.1	32.6	3.5	24.9	23.4	1.5
8.5	29.9	26.9	3.0	36.1	32.1	4.0	25.6	22.9	2.7
8.6	29.3	26.3	3.0	35.9	31.5	4.4	25.5	22.4	3.1
平均・計	29.0	27.4	1.6	35.0	32.7	2.4	25.0	23.4	1.6
月・半旬	降水量(mm)			日照時間(h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
8.1	4.0	27.8	△ 23.8	41.5	34.8	6.7			
8.2	238.0	27.1	210.9	12.4	34.1	△ 21.7			
8.3	144.0	31.6	112.4	31.8	32.0	△ 0.2			
8.4	0	34.9	△ 34.9	48.2	30.5	17.7			
8.5	0.0	35.0	△ 35.0	44.2	29.5	14.7			
8.6	2.0	42.6	△ 40.6	45.8	33.6	12.2			
平均・計	388.0	199.0	189.0	223.9	194.5	29.4			

II 作物の生育状況

- (1) イネ : 早生品種の出穂期は、平年に比べ 2～5 日程度早かった。中生品種は、茎数が平年並～やや多く、出穂期は平年並～やや早い見込み。
- (2) ダイズ : 6 月播種の開花期は概ね平年並。開花期以降、8 月第 2～3 半旬にまとまった降雨があったものの、降水量が少なく推移したため、一部ほ場では落花・落莢が見られた。
- (2) カンキツ : 8 月上中旬にまとまった降雨があったことから、果実肥大は、平年並からやや大きく推移している。また、果実分析結果（一部産地）は、糖度は平年よりも高い傾向にあり（一部品種を除く）、酸度は低く推移している。

Ⅲ 病害虫の発生状況

1 普通作物

2025年8月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
イネ いもち病(葉いもち) (調査ほ場数：上旬80、 下旬56)	上旬の調査では、発生ほ場率21.3% (平 年24.5%)、発病株率5.7% (平年 10.4%)、発病度1.4 (平年2.8)、病斑 の最上位葉2.6葉(平年2.6葉)で平年に比 べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率19.6% (平年16.7%)、発病株率4.4%(平年 5.8%)、発病度2.1(平年1.6)で平年並み であった。	県内全域	中	216
			少	3,462
			計	3,678
いもち病(穂いもち) (調査ほ場数：上旬34、 下旬47)	初発生は、8月6日(平年8月10日)萩市 で確認し、平年並みであった。 上旬の調査では、発生ほ場率2.9%(平年 5.9%)、発病株率0.6%(平年1.1%)、発 病穂率19.0%(平年0.1%)、被害度 0.0(平年0.0)で平年に比べやや少なかつ た。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率29.8% (平年16.5%)、発病株率5.2%(平年 3.1%)、発病穂率0.9%(平年0.6%)発病 度0.1(平年0.5)で平年に比べやや多かつ た。	県内全域	少	3,029
紋枯病 (調査ほ場数：上旬84、 下旬82)	上旬の調査では、発生ほ場率4.8%(平年 11.5%)、発病株率0.6%(平年1.2%)、 発病度0.3(平年0.3)で平年に比べ少な かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.7% (平年21.5%)、発病株率4.8%(平年 3.3%)、発病度2.5(平年1.2)で平年並み であった。	県内全域	甚	216
			中	433
			少	3,029
			計	3,678
ごま葉枯病	上旬の調査では、発生ほ場率38.1%(平 年12.8%)、発病株率10.6%(平年 4.0%)、発病度2.7(平年1.0)で平年に比 べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率42.7% (平年22.5%)、発病株率22.7%(平年 10.1%)、発病度5.7(平年2.6)で平年に 比べ多かった。	県内全域	中	3,029
			少	4,544
			計	7,573
縞葉枯病	上旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年0.1%)、発病株率0%(平年0.0%)で平 年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年0.2%)、発病株率0%(平年0.0%)で平 年並みであった。	—	—	—

2025年8月

病虫害名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
イネ ばか苗病	上旬の巡回調査では、発生ほ場率1.2% (平年0.1%)、発病株率0.3%(平年 0.0%)で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率1.2% (平年0.1%)、発病株率0.3%(平年 0.0%)で平年に比べ多かった。	県内全域	多 216
白葉枯病、黄化 萎縮病、萎縮病	上旬、下旬の巡回調査では、発生は認め られず平年並みであった。	—	—
稲こうじ病 (調査ほ場数：下旬 44)	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年0.6%)、発病株率0%(平年0.0%)で平 年並みであった。	—	—
もみ枯細菌病 (調査ほ場数：上旬 32、下旬52)	上旬の巡回調査では、発生ほ認められな かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率11.5% (平年0.8%)、発病株率1.3%(平年 0.1%)、発病穂率0.1%(平年0.0%)で平 年に比べ多かった。	県内全域	少 1,298
ツマグロヨコバイ (調査ほ場数：上旬 84、下旬82)	上旬の巡回調査では、発生ほ場率10.7% (平年22.8%)、10株当たり虫数0.5頭(平 年0.4頭)で平年に比べやや少なかった。 一部で多発ほ場が認められた。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率7.3% (平年14.9%)、10株当たり虫数0.2頭(平 年0.3頭)で平年並みであった。	県内全域	少 1,947
セジロウンカ	上旬の巡回調査では、発生ほ場率13.1% (平年44.7%)、10株当たり虫数18.4頭 (平年19.7頭)で平年に比べやや少なかつ た。一部で多発ほ場が認められた。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.3% (平年32.3%)、10株当たり虫数0.4頭(平 年6.8頭)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	甚多 216 216 少 1,947 計 2,379
トビイロウンカ	8月7日に萩市の予察灯で初確認した。 上旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年10.9%)、10株当たり0頭(平年2.9 頭)、10株当たり短翅型成虫数0.0頭(平 年0.9頭)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年26.2%)、10株当たり虫数0頭(平年 30.7頭)、10株当たり短翅型成虫数0頭 (平年0.4頭)で平年に比べ少なかった。	—	—
コブノメイガ	上旬の巡回調査では、発生ほ場率6.0% (平年31.9%)、被害葉率0.0%(平年 0.6%)、20回払い出し虫数0.0頭(平年 0.8頭)で平年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率13.4% (平年32.0%)、被害葉率0.0%(平年 0.7%)、20回払い出し虫数0.1頭(平年 1.2頭)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少 2,380

2025年8月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
イネ イチモンジセセリ (イネツトムシ)	上旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平 年2.7%)、10株当たりつと数0個 (平 年0.0個) で平年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平 年1.9%)、10株当たりつと数0個 (平 年0.0個) で平年並みであった。	—	—	
ニカメイガ、イ ネヨトウ	上旬及び下旬の巡回調査では、発生は認 められず、平年並みであった。	—	—	
フタオビコヤガ	上旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平 年0.8%)、10株当たり虫数0頭 (平年0.0 頭) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平 年0.2%)、10株当たり虫数0頭 (平年0.0 頭) で平年並みであった。	—	—	
イネクロカメムシ	上旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平 年0.8%)、25株当たり虫数0頭 (平年0.0 頭) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率1.2% (平年1.2%)、25株当たり虫数0.0頭 (平 年0.1頭) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少	216
イネカラバエ	下旬の巡回調査では、発生は認められ ず、平年並みであった。	—	—	
斑点米カメムシ類 (調査ほ場数：上旬38、 下旬36)	上旬の巡回調査(出穂ほ場)における20回 すくい取り調査では、発生ほ場率75.8% (平年62.7%)、虫数8.3頭 (平年2.5頭) で 平年に比べ多かった。主要種はホソハリ カメムシ、イネカメムシであった。 下旬の巡回調査(出穂ほ場)における20回 すくい取り調査では、発生ほ場率61.1% (平年62.2%)、虫数4.0頭 (平年2.3頭) で 平年に比べ多かった。主要種はイネカメ ムシ、クモヘリカメムシであった。 7月26日～8月25日の予察灯(県内3か 所)の誘殺数は、981頭 (平年1,688頭) で 平年並みであった。内訳はクモヘリカメ ムシ73頭 (平年並：平年180頭)、アカス ジカスミカメ594頭 (平年並：平年1,251 頭)、アカヒゲホソミドリカスミカメ145 頭 (平年並：平年145頭)、ミナミアオカ メムシ27頭 (平年並：平年18頭)、イネカ メムシ142頭 (やや多：平年94頭) であっ た。	県内全域	多 中 少 計	433 1,082 2,813 4,328

2025年8月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
ダイズ べと病 (調査ほ場数：21)	下旬の巡回調査では、発生ほ場率42.9% (平年38.7%)、発病株率21.5% (平年25.2%)、発病度5.4 (平年6.5) で平年並みであった。	県内全域	少	376
葉焼病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率4.8% (平年12.1%)、発病株率0.2% (平年3.8%)、発病度0.0 (平年1.0) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少	42
立枯性病害	下旬の巡回調査では、発生ほ場率19.0% (平年2.9%)、発病株率0.8% (平年0.2%) で平年に比べ多かった。	県内全域	中	42
			少	125
			計	167
褐色輪紋病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率4.8% (平年9.5%)、発病株率0.4% (平年5.1%)、発病度0.1 (平年1.3) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少	42
吸実性カメムシ類 (調査ほ場数：上旬17、下旬21)	上旬の巡回調査では、発生ほ場率41.2% (平年40.7%)、1㎡当たり虫数0.3頭 (平年0.3頭) で平年並みであった。主要種はアオクサカメムシ、ミナミアオカメムシであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率52.4% (平年43.7%)、1㎡当たり虫数0.3頭 (平年0.3頭) で平年に比べやや多かった。主要種はホソヘリカメムシ、イチモンジカメムシ、ミナミアオカメムシであった。 7月26日～8月25日の予察灯 (県内3か所) の誘殺数は51頭 (平年58頭) で平年並みであった。内訳はアオクサカメムシ15頭 (平年並：平年31頭)、ミナミアオカメムシ27頭 (平年並：平年18頭)、イチモンジカメムシ9頭 (平年並：平年9頭) であった。	県内全域	少	459
フタスジヒメハムシ	上旬の巡回調査では、発生ほ場率64.7% (平年56.9%)、1㎡当たり虫数3.4頭 (平年1.9頭) で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率47.6% (平年68.6%)、1㎡当たり虫数3.9頭 (平年9.4頭) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	甚	42
			中	209
			少	209
			計	460
ウワバ類、オオタバコガ等の チョウ目	上旬の巡回調査では、発生ほ場率70.6% (平年72.7%)、1㎡当たり0.7頭 (平年1.0頭) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率76.2% (平年78.3%)、1㎡当たり虫数1.0頭 (平年1.1頭) で平年並みであった。	県内全域	多	42
			中	292
			少	334
			計	668

2025年8月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)																			
ダイズ ウコンノメイガ	上旬の巡回調査では、発生ほ場率17.7% (平年16.3%)、被害株率2.1% (平年1.8%) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率4.8% (平年25.1%)、被害株率0.0% (平年4.7%) で平年に比べ少なかった。	県内全域	少	125																		
サヤムシガ類	上旬の巡回調査では、発生ほ場率41.2% (平年30.2%)、25株当たり被害か所数1.3 (平年1.3) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率9.5% (平年9.2%)、25株当たり被害か所数0.1 (平年0.4) で平年並みであった。	県内全域	中	42																		
			少	251																		
			計	293																		
ハスモンヨトウ	上旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年12.6%)、1a当たり白変か所数0か所 (平年0.2か所)、1㎡当たり虫数は0.0頭 (平年0.1頭) で平年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率9.5% (平年32.5%)、1a 当たり白変か所数0.1か所 (平年0.5か所)、1㎡当たり虫数は0.2頭 (平年0.7頭) で平年に比べ少なかった。 8月1日～31日のフェロモントラップ (防府市牟礼) の誘殺数は3,293頭 (前年4,314頭) であった。 7月21日～8月20日のフェロモントラップ (県内5か所) の誘殺数は3,802頭 (平年4,457頭) で平年並みであった。 フェロモントラップでの誘殺数 (頭) <table><tr><th>地点</th><th>本年</th><th>平年</th></tr><tr><td>周南市熊毛</td><td>1,516</td><td>1,522</td></tr><tr><td>山口市阿東</td><td>743</td><td>699</td></tr><tr><td>萩市明木</td><td>77</td><td>107</td></tr><tr><td>下関市清末</td><td>886</td><td>742</td></tr><tr><td>柳井市伊陸</td><td>580</td><td>1,387</td></tr></table> ※ 7月21日～8月20日の合計	地点	本年	平年	周南市熊毛	1,516	1,522	山口市阿東	743	699	萩市明木	77	107	下関市清末	886	742	柳井市伊陸	580	1,387	県内全域	少	84
地点	本年	平年																				
周南市熊毛	1,516	1,522																				
山口市阿東	743	699																				
萩市明木	77	107																				
下関市清末	886	742																				
柳井市伊陸	580	1,387																				
コガネムシ類	上旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年3.6%)、被害度0 (平年0.3) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率4.8% (平年9.6%)、被害度0.0 (平年2.0) で平年並みであった。	県内全域	少	42																		

2 果樹

2025年8月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
カンキツ (調査ほ場数:19) かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率21.1% (平年8.2%)、発病果率1.9% (平年0.9%)、発病度0.6 (平年0.4) で平年に比べ多かった。	県内全域	少	215
そうか病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.8% (平年16.6%)、発病果率0.8% (平年1.1%)、発病度0.3 (平年0.7) で平年並みであった。	県内全域	少	161
黒点病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率63.2% (平年66.0%)、発病果率17.7% (平年15.4%)、発病度5.3 (平年4.0) で平年並みであった。	県内全域	中	161
			少	483
			計	644
ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率21.1% (平年35.7%)、寄生葉率0.8% (平年8.1%) で平年に比べ少なかった。	県内全域	少	215
ミカンサビダニ	下旬の巡回調査では、発生は認められず、平年並みであった。	—	—	—
チャノキイロアザミウマ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率26.3% (平年11.8%)、被害果率1.2% (平年0.4%) で平年に比べ多かった。	県内全域	少	268
ナシマルカイガラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率26.3% (平年28.8%)、寄生果率2.6% (平年2.4%) で平年並みであった。	県内全域	多	54
			中	107
			少	107
			計	268
イセリアカイガラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年6.0%) で平年並みであった。	—	—	—
ヤノネカイガラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.5%) で平年並みであった。	—	—	—
ルビーロウムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.2%) で平年並みであった。	—	—	—
ツノロウムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.6%) で平年並みであった。	—	—	—
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年2.9%)、寄生新梢率0% (平年0.1%) で平年並みであった。	—	—	—

2025年8月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
ナシ ナシヒメシンクイ	7月26日～8月25日のフェロモントラップ(萩市)における誘殺数は80頭(平年44.2頭)で平年に比べ多かった。	県内全域	—
果樹全般 カメムシ類 (チャバネアオカ メムシ、ツヤアオカ メムシ、クサギカ メムシ)	7月26日～8月25日の予察灯(県内4か所)における誘殺数は126頭(平年581頭)で平年に比べ少なかった。 主要種はクサギカメムシであった。 7月26日～8月25日のフェロモントラップ(県内3か所)によるチャバネアオカメムシの誘殺数は3頭(平年3,638頭)で平年に比べ少なかった。	県内全域	—

3 野菜

2025年8月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)																					
野菜、花き類 アブラムシ類	防府市牟礼の黄色水盤トラップ(8月 1 日～31日)の誘殺数は123頭(前年43頭)であった。	県内全域	—																					
ハスモンヨトウ	8月 1 日～31日のフェロモントラップ(防府市牟礼)の誘殺数は3, 293頭 (前年 4, 314頭) であった。 7月21日～8月20日のフェロモントラップ(県内 5 か所)の誘殺数は3, 802頭(平年 4, 457頭)で平年並みであった。 <table><tr><th colspan="3">フェロモントラップでの誘殺数 (頭)</th></tr><tr><th>地点</th><th>本年</th><th>平年</th></tr><tr><td>周南市熊毛</td><td>1, 516</td><td>1, 522</td></tr><tr><td>山口市阿東</td><td>743</td><td>699</td></tr><tr><td>萩市明木</td><td>77</td><td>107</td></tr><tr><td>下関市清末</td><td>886</td><td>742</td></tr><tr><td>柳井市伊陸</td><td>580</td><td>1, 387</td></tr></table> ※ 7月21日～ 8月20日の合計	フェロモントラップでの誘殺数 (頭)			地点	本年	平年	周南市熊毛	1, 516	1, 522	山口市阿東	743	699	萩市明木	77	107	下関市清末	886	742	柳井市伊陸	580	1, 387	県内全域	—
フェロモントラップでの誘殺数 (頭)																								
地点	本年	平年																						
周南市熊毛	1, 516	1, 522																						
山口市阿東	743	699																						
萩市明木	77	107																						
下関市清末	886	742																						
柳井市伊陸	580	1, 387																						
オオタバコガ	8月 1 日～31日のフェロモントラップ(防府市牟礼)の誘殺数は0頭(前年33頭)であった。	県内全域	—																					
シロイチモジヨトウ	8月 1 日～31日のフェロモントラップ(防府市牟礼)の誘殺数は382頭(前年88頭)であった。	県内全域	—																					
コガネムシ類	7月26日～8月25日の予察灯(県内 3 か所)の誘殺数は258頭(平年249頭)で平年並みであった。	県内全域	—																					

お問い合わせ先

山口県農林総合技術センター(山口県病害虫防除所)

TEL (0835)28-1211(代)

E-mail a172011@pref.yamaguchi.lg.jp